

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	あへん倉庫整備事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者			
事業開始年度	昭和26年度	事業終了 (予定)年度	平成29年度	担当課室	監視指導・麻薬対策課			課長 磯部 総一郎			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	あへん法第2条、第6条、第7条、第29条			関係する計画、 通知等	平成28年度営繕計画書						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	医療及び学術研究の用に供する「あへん」の供給の適正を図るために、海外から輸入したあへんを保管する倉庫を建築する事業を行う。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を保管する倉庫を建築する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	10	31	51	-	-				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	8	33	47	-				
		翌年度へ繰越し	▲ 8	▲ 33	▲ 47	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		2	6	37	47	0				
	執行額		2	6	37	-	-				
	執行率 (%)		100%	100%	100%	-	-				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		20%	19%	73%	-	-					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	-		-	-							
	計		-	-							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	あへん倉庫の完成		建設工事の完了(竣工)件 数		成果実績	件	-	-	0	-	-
					目標値	件	-	-	1	-	1
					達成度	%	-	-	0	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											
関東地方整備局からの連絡											
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	実施中の建築工事の件数				活動実績	件	1	1	1	-	-
					当初見込み	件	1	1	1	1	-
単位当たり コスト	算出根拠					単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	当該年度の建築工事に係る執行額(円)				単位当たり コスト	円	2,233,800	5,572,610	36,931,886	47,494,669	
	当該年度に実施中の建築工事の件数(件)				計算式	円 / 工事 件数	2,233,800/1	5,572,610/1	36,931,886/1	47,494,669/1	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	-									
		施策	-									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-				
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-			
				目標値	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-					
	達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	あへんは医療上必要不可欠な医薬品原料であり、広く国民のニーズがある。また、あへん法に基づき、国が輸入等を行うこととなっているため、国費の投入が必要である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	あへん法により、あへんの輸入等の権能は国に専属している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療上必要不可欠な医薬品の原料を確保するため、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	設計工事については、他の契約との兼ね合いで特命随意契約としているが、建設工事については、一般競争入札により競争性を確保しており(三者辞退のため結果的に一者応札となった)、支出先の選定は妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	それぞれの年度の計画に照らして妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	中間段階での支出は必要最低限のものに限定されており、合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途については、必要な経費に限定して支出している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	工事の施工に伴い、当初予見されていなかった多数の地中障害物が発見され、除去対応に不測の日数を要したことにより工期が延伸したものの。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当該倉庫にかかる工事に問題はないが、当該倉庫建設予定地の研究施設本体の工事に係る工期末が平成29年6月末に延伸した。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
	-	-	-

点検・改善結果	点検結果	本事業は、医療上不可欠な医薬品原料である「あへん」を確保するための事業であり、広く国民のニーズがあるため、優先度の高い事業である。
	改善の方向性	当該倉庫建設にかかる各種契約を国立医薬品食品衛生研究所本体の建設にかかる契約と一本化することによりコスト低減を図った。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成29年度をもって終了すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	
平成25年度	—	平成26年度	新26-018	平成27年度	953	
平成28年度	920					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



